

REPORT 2023

—2023年度上半期—

[2023.4.1～2023.9.30]

桜・名城 100選のまち



地域のために 地域とともに
津山信用金庫

津山市東新町屋外看板

作州地域の活性化応援信用金庫



津山信用金庫

2023年度上半期の地域経済活性化への取り組み&トピックス



TSUSHIN ACTION



これまでの主なあゆみ

- 4月
 - 本部組織改正による「お客さま応援本部」の新設
 - 2023年度入庫式開催
 - 第10回お取引先との懇親の夕べ特別講演会「アフターコロナの地方創生～未来につなぐ私たちの役割～」開催（講師：株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 氏）
- 5月
 - 第61回岡山県信用金庫野球大会に参加
 - 第36回つしんさくら会日帰り旅行開催（行先：広島県／福山城・鞆の浦）
 - 令和5年度第1回つやまICTコネクティブセッションズ開催（共催：つやま産業支援センター 後援：津山商工会議所）
 - 日本財団「わがまち基金」からの助成金を活用し、東京都墨田区にて東京東信用金庫の協力を得て「作州地域のうまいもん試食会」開催
- 6月
 - つしん福祉人材養成奨学金授与式開催（学校法人美作学園学生5名に授与：累計68名）
 - サマーキャンペーン「夏の定期預金2023」実施（9月末まで）
 - 「信用金庫の日」（6月15日）PR活動の実施（粗品進呈）
 - 東京都墨田区の丸井錦糸町店にて「岡山県北部」作州地域うまいものフェア開催（地域産品47種）
 - SDGs私募債発行記念式典および寄附品贈呈式開催（発行体：株式会社安田工業所 贈呈先：真庭市立草加部小学校）
 - 岡山県立津山高等学校 SSIIクラスにて地域創生に係る講義を実施
 - 第97期通常総代会開催
 - 人材雇用・育成セミナー開催（共催：日本フルハップ）
- 7月
 - つやまエリアオープンファクトリー2023に参加（主催：つやま産業支援センター）
 - 林田支店の窓口営業時間を一部変更（昼休業）
 - 第3期創業塾開講（共催：つやま産業支援センター、日本政策金融公庫、三井住友海上火災保険㈱ 後援：岡山県信用保証協会、信金中央金庫）
- 8月
 - 「第45回津山納涼ごんごまつりIN吉井川」のごんごおどりコンテストにつしんおどり連として参加
 - 津山納涼ごんごまつり清掃ボランティアに参加
 - つしんビジネスクラブ会員向けオンラインセミナー開催（講師：旭酒造株式会社 代表取締役会長 桜井 博志 氏）
 - 本店と二宮支店が特殊詐欺の未然防止による感謝状受領
 - 学校法人美作学園とのコラボによる「第9回つしんこどもマネースクール」開催
- 9月
 - 真庭ブロックの渉外担当者を久世支店に集中配置
 - 落合支店の窓口営業時間を一部変更（昼休業）
 - 二宮支店新店舗の安全祈願祭開催
 - 第17回岡山県しんきん合同ビジネス交流会開催
 - 世界アルツハイマーデーの啓発活動に参加
 - SDGs私募債発行記念式典および寄附品贈呈式開催（発行体：森山建設株式会社 贈呈先：津山市立高田小学校）

津山しんわ
文化財団

10月27日～11月5日
第35回しんわ美術展 協賛

補助金の
取り組み

2023年度の事業再構築等の補助金取り組み（～10月）
申請件数…35件 採択件数…29件

地域のお客さまのために

●つしん日和の発刊



作州地域に本店を有する唯一の金融機関として、当金庫では、お客さま情報を中心にオリジナル広報誌「つしん日和」を毎月発刊しております。

- 当金庫の取り組み紹介
 - 地域の企業紹介
 - お役立ち情報、当金庫の新商品およびイベント等の紹介
 - その他地域情報
- などを掲載しております。

●つしん福祉人材養成奨学金

2010年度より学校法人美作学園 美作大学生生活科学部 社会福祉学科および美作大学短期大学部専攻科介護福祉専攻において福祉を学び、卒業後も末永く作州地域で活躍していただける学生に対し、毎年奨学金（1人20万円）を授与しております。今回で14回目となり累計68名の学生へ授与しました。

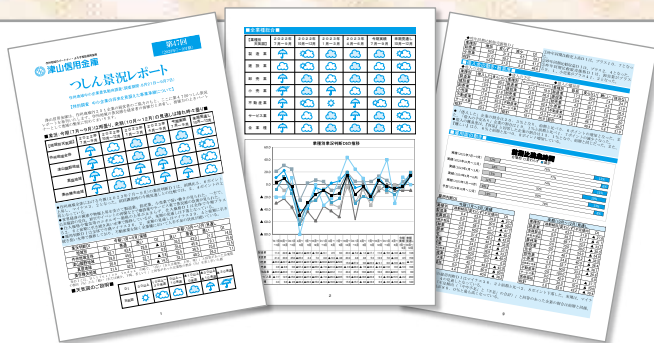


当金庫のビジョンは、「持続可能な作州地域の実現」です!!

作州地域のために

●つしん景況レポートの発刊

作州地域内約250企業の経営者のご協力のもと、作州地域の景況感を経営者の皆さま方と共有し、皆さま方の良きパートナーとして、地域産業の繁栄に努めてまいります。



●東京都墨田区にて作州地域のうまいもん試食会を開催

5月29日に東京都墨田区で作州地域の肉文化を発信する「作州地域のうまいもん試食会」を開催しました。当試食会は当金庫が日本財団「わがまち基金」からの助成金を活用し、作州地域事業者の新商品開発や販売拡大支援を通じた持続的な作州地域の実現に向けた取組の一環で、東京東信用金庫が連携する墨田区商店街連合会の飲食店14事業者に参加いただきました。



参加いただいた事業者には作州地域を代表する牛肉料理5品(干し肉、ヨメナカセ、つやま和牛、ホルモンうどん、そずり鍋)の本場の味を楽しんでいただき、また、地域商社曲辰が開発した日本酒やクラフトビールも堪能していただきました。今回の試食会に参加したことで作州地域を知っていただいた参加者も多く、作州地域のPRや販路拡大支援ができました。



●東京都墨田区の丸井錦糸町店にて“岡山県北部”作州地域うまいものフェアを開催

6月15日～21日の7日間、作州地域事業者の地域産品を集めた「“岡山県北部”作州地域うまいものフェア」を東京都墨田区の丸井錦糸町店で開催しました。当フェアは当金庫が日本財団「わがまち基金」からの助成金を活用し、作州地域事業者の新商品開発や販売拡大支援を通じた持続的な作州地域の実現に向けた取組の一環で、作州地域の23事業者に参加いただきました。

当フェアでは商品アンケート調査の実施や7日間で約70万円を売り上げ、期間中に47種の商品のうち大半の商品が完売になる等、盛況でした。

事業先のために

●つやまICTコネクティノベーションズを開催

5月26日に当金庫とつやま産業支援センターの共催、津山商工会議所の後援による「令和5年度第1回つやまICTコネクティノベーションズ」を津山商工会館にて開催しました。

デジタル化に挑戦する地域企業への支援として、昨年、当金庫がつやま産業支援センターと共同で実施した「DX(デジタルトランスフォーメーション)推進状況アンケート」と景気動向調査を用いた作州地域のDXの推進状況の発表を行いました。その他、つやま産業支援センターによる支援メニューや事例の紹介、つやまICTコネクティノベーションズによるサービス紹介、ITコーディネータによる基調講演(企業経営にITを取り込むためのポイント)を行いました。

●岡山県しんきん合同ビジネス交流会の開催

9月13日にコンベックス岡山において、岡山県下7信用金庫等の主催による「第17回岡山県しんきん合同ビジネス交流会」を開催しました。県内7信用金庫等のお取引先さまを中心に全国の信用金庫からの協力を得て、岡山県内外約400社の企業・団体がそれぞれ自慢の商品・サービスを自社ブースにて披露し、活発な商談が行われました。

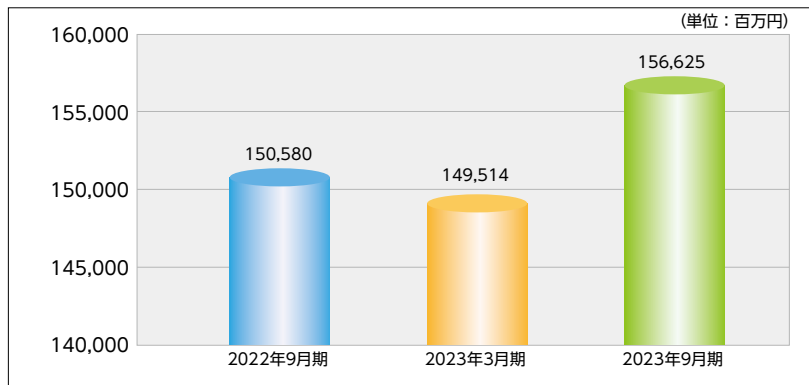


1 預金・貸出金の状況

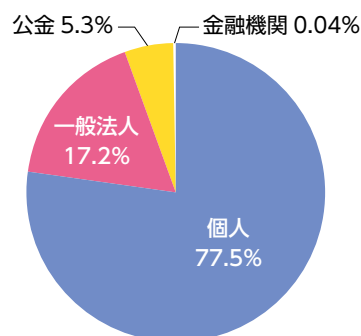
預金積金残高

156,625百万円

2023年9月期の預金積金残高は、2023年3月期より7,111百万円増加し、156,625百万円となりました。



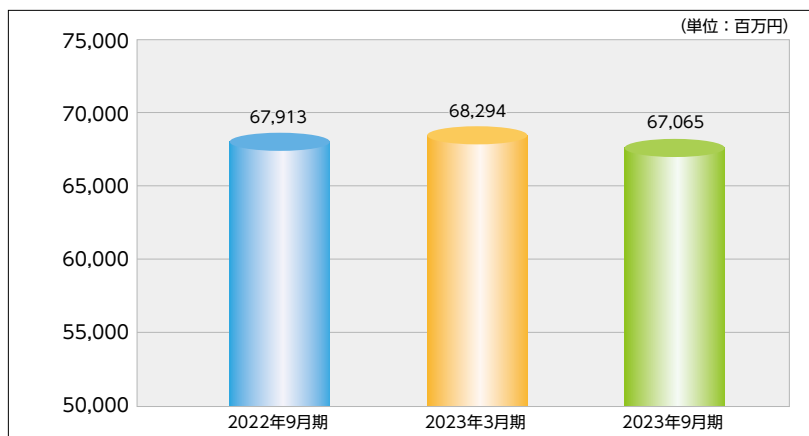
預金者別預金積金残高の構成比



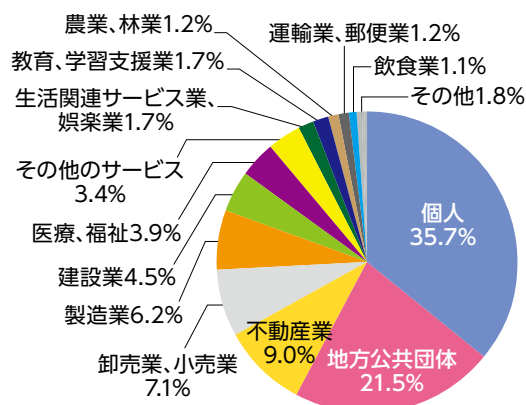
貸出金残高

67,065百万円

2023年9月期の貸出金残高は、2023年3月期より1,229百万円減少し、67,065百万円となりました。



業種別貸出金残高の構成比



2 損益の状況

(単位：百万円)

科目	2022年9月期(半期)	2023年3月期(通期)	2023年9月期(半期)
業務純益	140	243	169
実質業務純益	140	243	169
コア業務純益	139	278	169
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	135	274	169
経常利益	239	470	232
当期純利益	222	505	164

業務純益

169百万円

実質業務純益

169百万円

コア業務純益

169百万円

コア業務純益
(投資信託解約損益を除く)

169百万円

経常利益

232百万円

当期純利益

164百万円

(注) 1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)
 2. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額
 3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券関係損益

3 自己資本比率 (国内基準)

自己資本額 **7,704**百万円

自己資本比率 **11.19%**

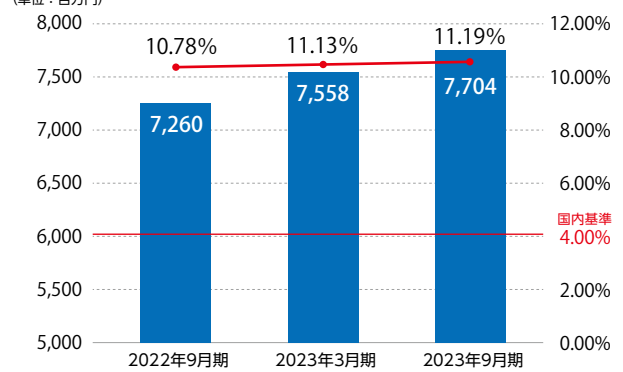
当金庫の2023年9月期の自己資本比率は**11.19%**と国内基準4%の2.7倍以上であり、経営の健全性・安全性は十分確保しておりますので、皆さまに安心してお取引いただけます。

●自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円)

項目	2022年9月期	2023年3月期	2023年9月期
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	7,352	7,646	7,792
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	92	87	88
自己資本の額 [(イ) - (ロ)] (ハ)	7,260	7,558	7,704
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	67,328	67,849	68,822
自己資本比率 [(ハ) / (ニ)]	10.78%	11.13%	11.19%

自己資本額と自己資本比率



●自己資本の充実度に関する事項

- ①「所要自己資本額」は、リスク・アセットに4%を乗じて算出した額です。
- ②「リスク・アセット」とは、自己資本比率を計算する際の分母に用いるもので、『信用リスクアセット(資産額×資産のリスクに応じた掛目)』と、『オペレーショナル・リスク(システム障害や不祥事、事務ミス等により損失を被るリスク)相当額を8%で除した額』の合計を計上しております。

(単位：百万円)	2022年9月期		2023年3月期		2023年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	63,870	2,554	64,384	2,575	65,357	2,614
ロ. オペレーショナル・リスク	3,458	138	3,464	138	3,464	138
ハ. 単体総所要自己資本額 (イ+ロ)	67,328	2,693	67,849	2,713	68,822	2,752

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

4 不良債権比率

不良債権額 **2,175**百万円

不良債権比率 **3.20%**

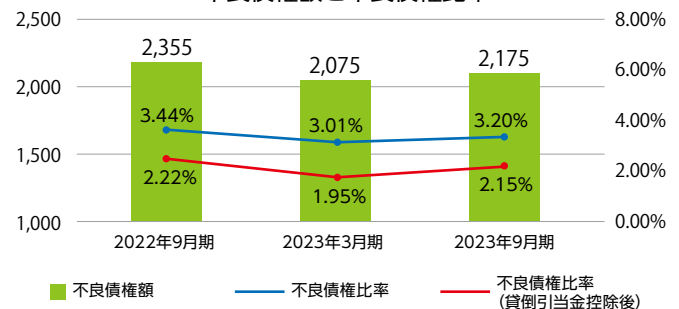
●金融再生法による開示債権と保全額

(単位：百万円)

	2022年9月期	2023年3月期	2023年9月期
金融再生法上の不良債権 (A)	2,355	2,075	2,175
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	297	476	465
危険債権	1,912	1,464	1,546
要管理債権	145	134	163
正常債権	66,038	66,779	65,734
保全額 (B)	2,278	1,982	2,063
貸倒引当金 (C)	856	746	731
担保・保証等 (D)	1,422	1,236	1,332
保全率 (B) / (A) (%)	96.74%	95.56%	94.85%
担保・保証等控除後債権に対する引当率 (C) / ((A) - (D)) (%)	91.77%	89.01%	86.71%

(単位：百万円)

不良債権額と不良債権比率



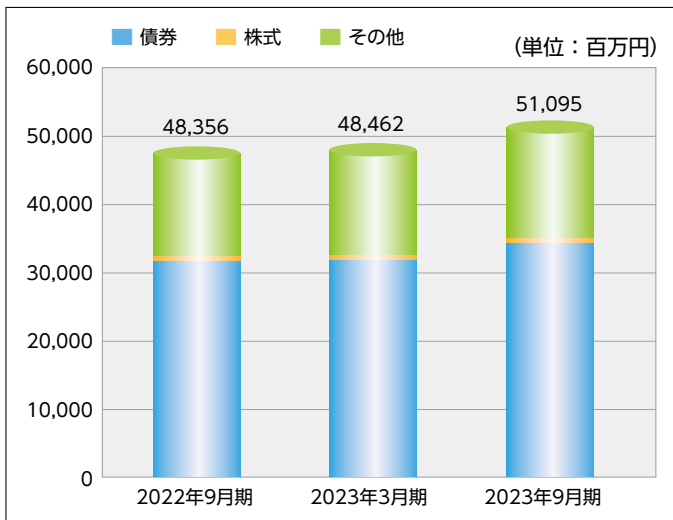
- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
 - ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。
 - ③「要管理債権」とは、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいいます。
 - ④「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
- (注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

5 有価証券の状況

I. 運用残高 (貸借対照表計上額)

(単位：百万円)

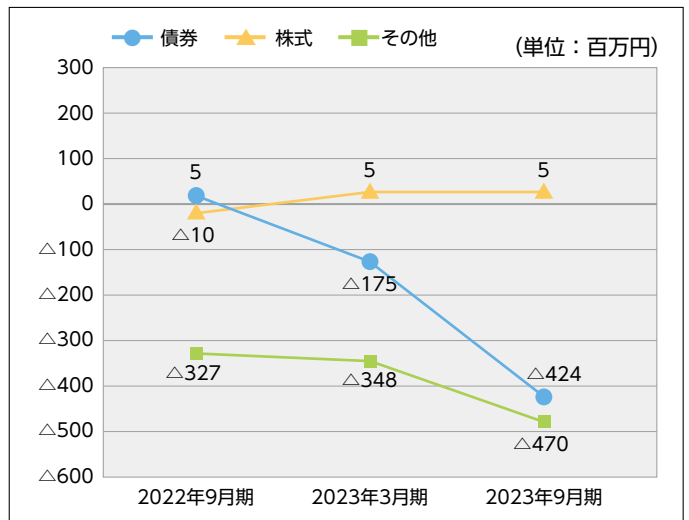
種別	2022年9月期	2023年3月期	2023年9月期
債券	31,852	31,861	34,667
株式	416	432	373
その他	16,087	16,168	16,054
合計	48,356	48,462	51,095
満期保有目的の債券	1,003	954	2,040
その他有価証券	47,353	47,507	49,054



II. 評価損益

(単位：百万円)

種別	2022年9月期	2023年3月期	2023年9月期
債券	5	△ 175	△ 424
株式	△ 10	5	5
その他	△ 327	△ 348	△ 470
合計	△ 333	△ 519	△ 889
満期保有目的の債券	11	7	△ 59
その他有価証券	△ 344	△ 527	△ 829



～ つしんのおすすめ商品 ～

つしんひまわりクラブ



つしんVISA一体型ICカード「ぎゅっと」



つしんマイカーローン



※ お借入の際には、所定の審査がございます。店頭または渉外担当者までお尋ね下さい。
 ※ チラシに記載の内容は2023年10月末時点のものです。

2024年秋、 二宮支店新築オープン予定

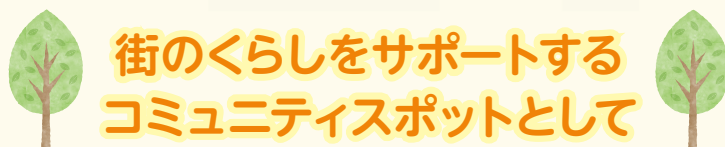
高野神社の鎮座地“宇那提森(うなでがもり)”の前に「美作ひのき」で森をイメージした店舗に建替へ。

地域に根差し続けて約80年の歴史を持つ二宮支店が、このたび新しいスタイルを持ったコミュニティスポットとして生まれ変わります。2024年ゴールデンウィーク明けに仮オープンし、旧店舗取り壊し後の2024年9月に正式オープンの予定です。

新しい二宮支店は、木材の持つCO₂吸収機能・貯蔵機能・森林循環機能による脱炭素化実現に貢献するばかりではなく、ヒノキ素材生産量が日本一の岡山県の木材や建材を使用することで、全国に向けた地域産品の利用促進と木材建築の魅力発信を行い脱炭素社会の実現を目指します。



外観イメージ



街のくらしをサポートする
コミュニティスポットとして

これまでの金融店舗のイメージを大きく覆すモダンで開放的な空間に、誰でも自由に利用できるラウンジやテラススペース等を設置。窓口に用事がなくても気軽に立ち寄ることができ、ドリンクを飲みながら過ごすことができるカフェスペースを提供します。

また、オンライン相談室を設置することで、お金や暮らしに関する様々な相談を受け付けて、多様な目線からお客様の生活をサポート、気軽に頼れる街の拠りどころとして新たな交流を生み出し、地域に貢献していきます。



店舗内イメージ



オンライン相談室イメージ



※2022年10月に地域木材の利用を促進するため、当金庫、津山市、院庄林業株式会社で「美作ひのき等利用促進に関する協定書」を締結し、本件が木材利用店舗第1号となります。



第35回しんわ美術展 文部科学大臣賞作品
「Deeply touch」
和崎 正美 (洋画)

【審査員講評】

描くという絵画の本質に真っ向から挑戦している秀作である。人物の後ろ姿から現代社会への深い焦燥と希望が生々しく迫ってくる。繊細な人物描写と得体の知れないイメージを獲得しようとする絵画の一見相反する要素を見事に一体化させることに成功している。

第35回しんわ美術展 グランプリ作品
「バウムクーヘン」
上田 繁 (洋画)

【審査員講評】

作者のお気に入りの場所であろうか。スケールのある地層の迫力そのまま油彩による絵画の魅力に直結しており、観察と時空間に酔いしれることができる秀作である。空の色味と陽を浴びた地層の色相の対比が美しい。



第35回しんわ美術展 金賞作品
「卑怖」
木太 裕美 (洋画)

【審査員講評】

普段から山歩きをされていて、お気に入りの秘密の場所ではないかと想像しました。洋画として出品されていますが、日本画としても水彩としても、もちろん絵画として奥行き、深さ、根の存在感が完璧に表現されています。絵とは心。描く前が全てということを改めて思わせてくれる名作です。



作州地域の活性化応援信用金庫
作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫
津山信用金庫



URL <https://www.shinkin.co.jp/tsuyama/>
e-mail tsushin@mx1.tiki.ne.jp

〒708-0022 岡山県津山市山下30番地の15 TEL 0868-22-4121 FAX 0868-22-8637

